

太工職員研修

著作権や

知的財産権など

群馬県立太田工業高等学校(菅原茂校長)は6月30日、同校視聴覚室で同校職員約40人を対象にした研修「ケーススタディで学ぶ、学校における教育活動と著作権・知的財産権」を実施した。

同校は昨年度、本年度「産業財産権標準テキスト」を活用した知的財産権教育推進協力校」の認定を受けている(全国で81校、群馬県では他に前橋商業高校)。

今回の研修では、講師に弁理士の羽鳥亘氏(羽鳥国際特許商標事務所所長)を招き、職員が学校での教育活動において

配慮すべき著作権・知的財産権について学んだ。

羽鳥氏は「教員及び児童・生徒が、授業の教材として使うために他人の作品をコピーし配布する場合、著作権者の了解なしに利用できるための条件」などの具体例を挙げ、わかりやすい説明を行った。

同校では「研修で学んだことを実際の教育活動に生かし、卒業後、実社会に就職する生徒に還元

できれば」と話していた。写真は、講演を行う羽鳥氏。

太田中央

ライオンズ

1000回例会

太田中央ライオンズクラブ(高野憲樹会長)の1000回記念例会が7月2日の午後6時から太田ナウリゾートホテルで開催された。

昭和43年11月に初めての例会を開催したあと、奉仕の精神で月に2回のペースで例会を行ってきた。以来、42年が経過した。「継続は力」といわれているが、ひたむきな活動が、着実に実を結んでいる。今年度の会長スローガンは「地域を照らす 奉仕の一灯」。

この日、会員をはじめ、近隣のライオンズクラブ

